

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2013年4月

春になり、雪がとけて



この冬は各地で積雪が多かったようです。町内の排雪どころか主要幹線道路の除雪も追いつかないような日々もありました。

車1台が通ることも出来ないほど道路の両側に大きな雪山が連なっていたものが、4月に入って、みるみる融けていっています。

数週間かけて固く重くなった雪山は、まるで岩石でもあるかのようにどっかり居座っていましたが、気温が上がるにつれて表面がスカスカになり、崩れ、融け、無くなっていきました。

世間では、一世を風靡した人たちも、偉大な業績を成した人も、何年か後には話題にも上らなくなり忘れ去られていきます。広大な地域を支配した王たちも、時が過ぎれば「ただの暗記事項」として学習のネタとして扱われるだけになってしまいます。平家物語で語られている通り、『諸行無常の響きあり』です。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南14条西18丁目4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

変わらないもの

『変わらないもの』は

「世の中に、変わらないものなど無い」……それが一般的でしょう。しかし聖書には、次のような言葉が書かれています。

草は枯れ、花はしぼむ。しかし、われわれの神の言葉はとこしえに変わることはない。

(旧約聖書 イザヤ書 第40章8節)

このように、いつまでも存続するものは、信仰と希望と愛と、この三つである。

(新約聖書 コリント人への第1の手紙 第13章13節)

父には、変化とか回転の影とかいうものはない。

(新約聖書 ヤコブの手紙 第1章17節)

決して変わらないものがある——それが、聖書のメッセージです。



神のことば

「神のことば」である聖書は、数千年にわたって世界中で読み継がれ、多くの人々に影響を与え続けて来ました。「〇〇のバイブル」と呼びならわされるように、人生の指針として、いつの時代でもどの地域でも適用される『ことば』として保たれてきました。

雪山のように暖かくなれば融けてなくなってしまうような儚い存在ではなく、時代を経ても風化せず大地と一体化した硬い岩山のように、確かな足場、安全確実な『拠り所』として存在し続けています。

とこしえに主に信頼せよ、主なる神はとこしえの岩だからである。

(旧約聖書 イザヤ書 第26章4節)

聖書に書かれているのは、ただの「言葉」「思想」「教え」ではありません。『天地万物の創造主』と、人類の救世主『イエス・キリスト』とを、人々に紹介するものです。そして読んだ人々が、個人的にイエス・キリストを知り、「ただの人物」としてではなく「親しい友人」として実際にお付き合いしていくことができるように……聖書とは、そういう書物です。

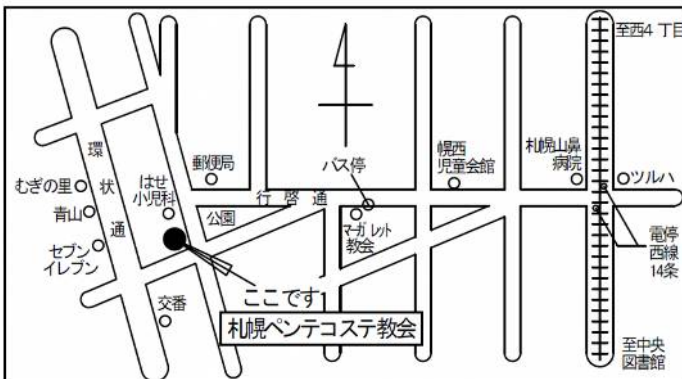


『変わらない真実』に心を向けて、イエス・キリストを求めてみて下さい。聖書を読んでみて下さい。教会で、書物で、インターネット等で、メッセージを聴いてみて下さい。イエス・キリストに関するメッセージは、あなた自身の『永遠』にかかわるとても大切な事なのです。

教会の定期集会のご案内

- GP クラブ こどものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)
- 聖日礼拝 聖書を通じて神さまを知ります。(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)
- 祈り会 神さまを賛美し祈り新たな力を受けます。(毎週木曜日 よる 7:00~8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。



教会のホームページ

<http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。

西 4 丁目電停から市電にて
西線 14 条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから、
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南 14 条西 17 丁目下車